

令和6年度行政評価 施策評価票

主管部局・課 建設部 都市計画課

政策目標4 安全、快適な基盤づくり/政策8 地域の活力を支える都市環境の維持

政策分野34 景観

目指す姿

自然景観、歴史的景観、まちなみ景観など、本市の景観の特性を活かした、うるおいと魅力にあふれるまち

施策

施策番号	名称	関連するSDGs17のゴール
	施策の内容	
施策1	自然、歴史、市街地の特性を活かした景観形成 	
	歴史、文化、地域の特性を活かした、魅力にあふれ、賑わいのある景観の創出と、豊かな自然景観の保全を図ります。	

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況

指標名					単位	説明又は計算式
1	景観に関する市民満足度				%	他市と比べて優れていると感じる人の割合（アンケート調査の結果）
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	59	61	63	65	アンケート調査を行うための各種イベント等が限定的であるものの、達成する見通しである。
	実績	73	75	-		
2	屋外広告物の更新率				%	更新済件数÷更新申請が必要な件数
	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標	検証
	目標	95	96	97	98	未更新物件の所有者等に対する通知等を徹底することにより達成する見通しである。
	実績	96	96	-		

2 施策の評価

施策1	自然、歴史、市街地の特性を活かした景観形成
今年度の重点方針 (方向性)	景観計画、景観条例及び屋外広告物等に関する条例に基づき、会津若松らしい、個性豊かで魅力あふれる景観まちづくりを推進します。
取組状況	【1】景観形成事業 ・景観法に基づく景観計画の策定や景観条例の改正を行い、法を根拠とした実効性の高い規制や誘導を実施してきた。 ・景観重点地区や景観まちづくり協定地区の修景への助成等によるまちなみ景観づくりを進め、まちなかの魅力向上に寄与してきた。 ・歴史的景観建造物や自然景観緑地の登録や指定、維持管理経費等の一部助成による景観形成に努めてきた。 ・景観認定制度や大好きな会津絵画コンクール等を実施し、景観形成に向けた市民意識の高揚を図ってきた。 【2】屋外広告物対策事業 ・屋外広告物の許可申請（新規、更新、変更等）の受付や適切な規制、誘導、指導等を実施してきた。（受付件数：R元年度344件、R2年度508件、R3年度386件、R4年度389件、R5年度377件） ・本市の地域特性に応じた独自の屋外広告物等に関する条例を制定した。 ・本市独自の屋外広告物等に関する条例を制定したことで既存不適格となった物件に対する助成制度を創設し、活用を促すことで是正が図られた。（利用件数：R元年度8件、R2年度6件、R3年度6件、R4年度2件、R5年度3件） ・屋外広告物の安全性を確保するため、安全点検の義務化等について屋外広告物等に関する条例の改正を行った。 【3】歴史的風致維持向上計画推進事業 ・歴史的風致に関する各種活動団体へのヒアリングや資料収集等を実施するとともに、庁内の関係部局と連携を図りながら計画を策定し国の認定を受けた。 ・歴史的風致維持向上計画推進協議会を発足し、計画に位置づけた各種事業の進捗等に対する評価を受けながら計画を推進している。 ・令和5年度より歴まちカードを配布することで計画の周知に努め、新たに日新館天文台跡地周辺等の整備に着手した。
課題認識と 今後の方針 ・改善点	【1】景観形成事業 ・景観重点地区を中心に修景等に対する助成制度を活用しながら、各地区のまちなみにふさわしい景観づくりを進めていく。 ・歴史的建造物や自然景観緑地等の保全に向け、所有者の負担軽減など有効な支援のあり方や利活用しやすい仕組み等について、関係機関等と連携しながら検討していく。 ・市民協働による景観形成への意識高揚を図るため、本市らしい景観づくりに向けた周知活動等を継続的かつ効果的に行っていく。 【2】屋外広告物対策事業 ・本市らしい良好な広告景観の形成のため、屋外広告物等に関する条例の周知を図るとともに、規制、誘導、指導等を適切に実施していく。 ・屋外広告物の安全性確保がより求められていることから、その所有者等に対し安全点検等に関する周知啓発を行い、適正な維持管理を促す。 ・既存不適格となった屋外広告物の所有者等に対し、是正に向けた働きかけを行う。 【3】歴史的風致維持向上計画推進事業 ・歴史的価値の高い建造物が解体等により年々減少するなど、歴史と伝統を反映した人々の生活が薄れつつあることから、歴史まちづくりに対する市民の意識高揚を図る必要がある。 ・庁内各課（文化課、観光課、まちづくり整備課及び都市計画課等）の横断的な連携を行い、史跡、名勝、建造物や伝統行事、祭礼などの文化財等を活かすため、山鹿素行生誕地の整備に向けた具体的な協議を進める。 ・歴史的価値の高い建造物の保存・活用など、市民との協働によるまちづくりを進めるため、歴史まちづくりに対する意識の高揚を図るとともに新たな支援制度を検討していく。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名
7 -3	文化財保存活用地域計画推進事業	教育委員会文化課
15-1	史跡若松城跡総合整備事業	観光商工部観光課
24-1	鶴ヶ城公園管理事業	建設部まちづくり整備課

4 施策の最終評価

・政策分野34「景観」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。

・施策1「自然、歴史、市街地の特性を活かした景観形成」については、景観重点地区を中心として修景等に対する助成制度の活用により、関係機関等と連携しながら各種施策を行うとともに、引き続き、景観計画、景観条例及び屋外広告物等に関する条例に基づき、歴史、文化、地域の特性を活かした、会津若松らしい魅力あふれる景観まちづくりを推進していく。特に、「歴史的風致維持向上計画」について、令和5年度に国の認定を受けたことから、歴史的価値の高い建造物の保存・活用に向けた具体的な整備事業に着手していく。

5 事務事業一覧

番号	ロジックモデル	重点事業	人口減少対策※	SDGsターゲット	事務事業名	次年度方針	担当部・課
施策1 自然、歴史、市街地の特性を活かした景観形成							
1		◎	基本目標2	11.4	景観形成事業	継続	建設部 都市計画課
2		◎		11.3	屋外広告物対策事業	継続	建設部 都市計画課
3		◎	基本目標2	11.4	歴史的風致維持向上計画推進事業	継続	建設部 都市計画課

※人口減少対策に資する事業を「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

- 基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり
- 基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出
- 基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり
- 基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 自然、歴史、市街地の特性を活かした景観形成						
1	事業名	景観形成事業			法定／自主	自主
	担当部・課	建設部 都市計画課			次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	会津若松らしい景観を「まもり」「つくり」「そだてる」ため、景観条例及び景観計画等に基づき、市民協働による各種景観施策を実施する。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)	
			事業費	13,375	15,000	
			所要一般財源	10,375	10,000	
			概算人件費	3,745	3,745	
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・景観計画の策定や景観条例の改正を行い、景観法を根拠とした実効性の高い規制や誘導を実施してきた。 ・景観重点地区や景観まちづくり協定地区の修景助成等によるまちなみ景観づくりを進め、歴史的景観建造物や自然景観緑地の登録や指定、維持管理経費等の一部助成による景観形成に努めてきた。 ・景観認定制度や絵画コンクール等を実施し、市民意識の高揚に向け取組んできた。				
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	景観重点地区である鶴ヶ城周辺地区や眺望景観保全地区、景観まちづくり協定地区等において、各地区にふさわしいまちなみ景観づくりを進めていくため、市民や事業者との協働によるまちづくりが求められており、修景等に対する助成制度を活用しながら、各地区にふさわしい景観づくりを進め、市民協働による景観形成に向けた意識の高揚を図るため、本市らしい景観づくりに向けた周知活動等を継続的かつ効果的に進めていく。				
	事業名	屋外広告物対策事業			法定／自主	自主
	担当部・課	建設部 都市計画課			次年度方針	継続
概要 (目的と内容)	良好な広告景観の形成を図るため、本市独自の屋外広告物等に関する条例に基づき、屋外広告物の適切な規制、誘導等を行う。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)		
		事業費	375	400		
		所要一般財源	375	400		
		概算人件費	4,881	4,881		
2	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・屋外広告物の許可申請の受付や適切な規制、誘導、指導等を実施してきた。(受付件数：R元年度344件、R2年度508件、R3年度386件、R4年度389件、R5年度377件) ・本市独自の屋外広告物等に関する条例を制定したことで既存不適格となった物件に対する助成制度を創設し、活用を促すことで是正が図られた。(利用件数：R元年度8件、R2年度6件、R3年度6件、R4年度2件、R5年度3件) ・屋外広告物の安全性を確保するため安全点検の義務化等について条例を改正した。				
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	屋外広告物の安全対策が求められていることから、その所有者等に対し、安全点検等に関する周知を行い適正な維持管理を促し、本市独自の屋外広告物等に関する条例を制定したことで既存不適格となった物件のうち、経過措置期間（令和5年度末まで）において是正完了に至らなかった2件の所有者等に対し引き続き是正に向けた働きかけを行う。				
3	事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業			法定／自主	自主
	担当部・課	建設部 都市計画課			次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	歴史的建造物と地域の伝統的な人々の活動を歴史的風致とみなし、歴史的風致維持向上計画に位置付け国の認定を受けることで、各種事業の推進により市街地環境の魅力を向上させる。	財務内容 単位(千円)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (見込み)	
			事業費	631	700	
			所要一般財源	631	700	
			概算人件費	1,304	1,304	
	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	・地元の活動団体へのヒアリングや資料収集等を実施するとともに、庁内の関係部局と連携を図りながら計画を策定し国の認定を受けた。 ・歴史的風致維持向上計画推進協議会を発足し、計画に位置づけた各種事業の進捗等に対する評価を受けながら計画を推進している。 ・令和5年度より歴まちカードを配布することで計画の周知に努め、新たに日新館天文台跡地周辺等の整備に着手している。				
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	歴史的価値の高い建造物が解体等により年々減少するなど、歴史と伝統を反映した人々の生活が薄れつつあることから、庁内各課（文化課、観光課、まちづくり整備課及び都市計画課等）の横断的な連携を行い、史跡、名勝、建造物や伝統行事、祭礼などの文化財等を活かすため、山鹿素行生誕地の整備に向けた具体的な協議を進めるとともに、歴史的価値の高い建造物の保存・活用など、市民との協働によるまちづくりを進めるため、歴史まちづくりに対する意識の高揚を図るとともに新たな支援制度を検討していく。				